



サイコロの1の目が赤いのはなぜ

1の赤は太陽を表す

お正月に、友だちとすごろくをするとき、サイコロをふって遊びますね。自分が出したいと思う目がなかなか出ないので、いろいろしたことはありませんか。

サイコロは、日本では、古くから使われてきました。サイコロは、神事、うらない、いろいろな遊びに使われますが、かけごとに使われることが最も多いようです。

サイコロは、天地東西南北を表しているといわれ、天が1、地が6、東が5、西が2、南が3、北が4とされています。

サイコロの目を見ると、1だけが大きく、赤い色をしていて、そのほかは、黒い色をしています。この赤は、天の太陽を表しているといわれています。

サイコロの1が天で、6が地ですから、サイコロのことを「一天地六」といいます。

サイコロをふって公平に決める

サイコロは、正六面体（立方体）の6個の面に、1から6までの目をつけたものです。

ふつうは、目の組{(1, 6)、(2, 5)、(3, 4)}が対応する面におかれています。目の組は、足して7になります。

サイコロは、だれも、どの目が出るか予測できないし、また、出やすい目というものがないので、公平にものごとを決めなければならないとき、サイコロが使われます。

(監修・青木 国夫)

